

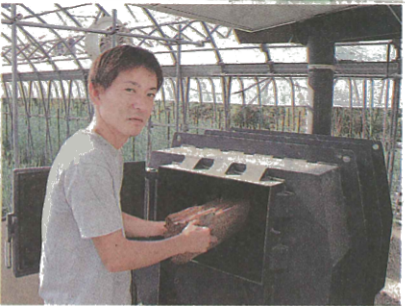
花きハウスにまき暖房機

燃料費を4割削減

千葉県・稲葉 修司さん

【千葉支局】ハウス7棟

(33坪)でカーネーションを栽培する南房総市宮下の稲葉修司さん(32)は、まきを燃料とした木質バイオマス暖房機



暖房機にまきを入れる

稲葉さん

を1棟(6坪)で導入。重油の暖房機の補助として利用し、重油だけの加温に比べると、燃料費を4割程度削減している。

燃料のまきを満タンにした場合、12時間以上連続して加温が可能で、気温が下がり始める夕方に着火すると、早朝まで加温できるという。二重カーテンで覆った場合、外気温に対して8〜12度、加温効果期待できる。1日当たりの燃料費は2200円程度だ。

稲葉さんは「市が間伐材を割るためのまき製造機を導入し、まきを安定して仕入れられるので、さらに重油の使用を抑えられるような温度管理ができれば」と話す。